

行政機関	令和元年度要望事項	新規・継続	校区	令和元年度要望に対する回答	備考
国土交通省	1. 一般国道10号の整備について ①鳥野原から中判田間拡幅(4車線化)の早期完成	継続 H15以前～	共通	平成26年度に事業化、平成28年度に地元説明会、平成29年度には全線の用地の幅杭の設置が完了したところで、平成30年度は引き続き用地の調査を実施。31年度は鳥野地区の改良工事に着手する予定である。早期に完成できるよう事業を進めてまいりたい。	
"	2. 一般国道10号の維持管理について ①大南地区内の植栽帯の撤去	継続	共通	除草を6月から9月の間に1回実施済みであり10月から部分的に2回目の除草を実施するなど、特に支障があると思われる要望地区については年2回の除草を行っている。昨年度は大野川水管橋先交差点から大塔交差点までの下り線(約1.7キロ)の歩道の植栽帯について防草対策を実施した。今年度は大塔入口から上流の筒井交差点までの防草対策を行う。抜本対策は、植栽帯を撤去し歩道を広くする工事の実施を考えているが全ての実施は難しいためご意見を十分に聞いたうえで対策方法や時期を含め優先度の高い箇所から対策していく。	
"	3. 大野川の整備について ①戸次古川・大内水門への排水ポンプの設置(常設)	継続 H17～	戸次	常設の排水ポンプの設置については採択要件に該当しない為大雨による内水浸水被害が予見される場合は、緊急排水ポンプ車による排水作業を実施する。また、迅速に排水開始が可能になるよう堤防上に乗り越し勾配管を設置。出水期前の排水ポンプ機器の事前設置を行い内水被害の軽減に努めている。	浸水戸数50戸以上必要、過去床上50、床下200以上の実績必要 H30より国土交通省へ要望一本化
"	②大南大橋から白滝橋間右岸土手の補強及び大野川の樹木撤去、河床掘削	継続	戸次 竹中	毎年2月に、河川全線に渡って堤防点検を実施している。出水時においては河川の巡視を行い、堤防や波導の状況に異常がないか確認しており、舟本大橋から上流において点検の結果、対策が必要な箇所については堤防の法面補修などを実施している。 また、大野川における河道内の樹木や堆積土砂の撤去については、これまでも必要に応じて実施してきたが、平成29年9月の台風18号の出水を踏まえ現在も下流側から順次実施している。地域の皆様からも堤防の異常など何かあれば当事務所または大野川出張所に連絡いただきたい。	R1上冬田より大野川の河床掘削について要望あり
"	③竹中第二樋管にある排水ポンプの排出能力の強化	継続	竹中	採択要件に該当しないため制度上実施できない。今後も内水被害の軽減として大野川本線水位を下げるため順次河床掘削等必要な対策を検討したい。	
"	④戸次大内地区の深迫川への樋門及び内水排除ポンプの設置	継続	戸次	採択要件に該当しないため制度上実施できない。大野川本線の水位を下げるため樹木の伐採を今年度も実施している。また、今後も内水被害の軽減として大野川の水位を下げるため順次河床掘削等の必要な対策を検討する。	

行政機関	令和元年度要望事項	新規・継続	校区	令和元年度要望に対する回答	備考
大分県 中部振興局	1. 中判田駅周辺の再開発の実施 (大分市へも要望)	継続	判田	バリアフリー化については、他の駅も含め無人化等も進んでおり、JRの都合等もあり難しい状況ではあるが、バリアフリー化の必要性は県も共通の認識である。県もJRに直接働きかけており、市がJRへ要望活動をする際に資料の提供や調整等の手伝いをさせていたいただきたい。再開発については道路の件について大分市が街づくりという事で計画を作らうと思うので、その中で皆様の意見を反映させていただきたい。その議論の中で県としてできることとはなにか反映したい。	H30 バリアフリー化3000人/日、H30 調査932人/日、大南地域ビジョンフォローアップ会議の意見で判田のスポーツ施設整備後の利用者の増加に伴う利便性向上の意見が出された
"	2. 過疎対策事業の実施 (大分市企画課へも要望)	継続	共通	過疎対策については、大分市と県の中部振興局で竹林の適正管理に向けて実証実験を行った。県は伐採によりその後何ができるか、どういうことができるか昨年の実証実験から数値はとれており、発注するとコスト的に厳しいという結果が出ている。今年度、機械を入れて行うとどうなるかデータを取っているものでこれを踏まえ今後どうやっていくか検討したい。また、大分市が筍を、管理としてだけでなく、生産できる施設としての竹林の検討を行っているので、それらを総合的に勘案し、今後どのようなことができるか一緒に議論して参りたい。	(県事業) 陽のさす里山環境整備事業、 (市事業) 荒廃竹林整備・利活用推進事業の実施
大分県 土木事務所	令和元年度要望事項 1. 県道の改良整備について (1) 県道弓立・上戸次線改良工事の早期完成	新規・継続 H15以前～	校区 竹中	令和元年度要望に対する回答 現在、中野工区(900m区間)で起点側の方から用地取得を行いながら、一部工事に着手し、平成31年3月に弓立側は完了している。今後も進めるが、工事の設計が山を大きく削るものになっており、何か月も通行止めになるため、今年度は車を通しながら工事ができる方法に設計の見直しを進める。	備考
"	(2) 県道臼杵・上戸次線改良工事の実施 ①辻、宮尾地区の歩道改良	継続 H15～	吉野	非常に狭く、坂道がきついところであることは現地を確認しているが、歩道を広げるのは難しい。現在考えているのは、路面が古く割れなど劣化しているのをこれを滑らかにすること、道路側溝に蓋をかけ、穴を塞ぎ、のぼりくんだり少しでも滑らかになる仕上げにしたい。当面危険が多い場所についてはガードレールや標識、区画線等交通安全施設の設置を中心に対応してまいりたい。	
"	(3) 県道中判田・犬飼線改良工事の実施 ①冬田橋付近の冠水解消	H30～	竹中	①冬田地区については平成30年に路面の整備と、側溝の補修を行った。 冬田橋については、現地を確認し調査したが、流末がわからなかった。時期は明言できないが、側溝や流末をどこに持っていくかの設計、工事を行う予定である。	

	②花香～岩上間の歩道整備	新規		<p>②竹中駅から上流側の歩道は、用地買収が必要であり早期実現は難しい。自転車を通う生徒の交通に支障があれば基本的には年2回の除草だが、連絡があればその都度対応していきたい。</p>	
"	<p>(4) 県道大分大野線の全体的な拡幅及び路面整備 ①石川地区から黒岩地区</p>	継続 H30～	竹中	<p>昨年度、特に傷みのひどい箇所については補修を行い、路肩が崩れているところは鉄板を敷いて仮設の対応をしたが、11月工事を発注し、現地に入った。 離合箇所を増やすことについては、予算の面もあり、今後の検討課題とさせていただきます。補修など必要な箇所があれば対応してまいります。</p>	
"	<p>(5) 県道吉野原大飼線の整備及び拡幅 ①上志津留地区</p>	継続 H30～	吉野	<p>大規模な工事は困難であるが、法面の処理、排水の処理については現在整備中のとおり、これから着手していくところである。</p>	
"	<p>(6) 県道臼杵・上戸次線の整備について</p>	新規	吉野	<p>(2) に回答集約</p>	
"	<p>(7) 大南地区内県道の維持管理 ①県道弓立・上戸次線 ②県道中判田・犬飼線 ③県道臼杵大南線(西河内地区から峠地区間)</p>	新規	共通	<p>①②③については、交通量に応じ、パトロールを週1回行っている。草刈は予算のこともあるが年2回は行っている。草等があるため自転車が危険な目にあう、水たまりができていくと、そういった所は草刈や土砂の撤去など早めに対応していきたいので個人の方からでも連絡をいただけるとありがたい。</p>	
"	<p>2. 河川の改良整備について (1) 大野川右岸の上り尾・影の木・利光地区における河川改良工事の実施</p>	継続		<p>順番で事業を展開しており、現在は花香、利光から筒井の方まで改良を進めている。護岸が壊れたりしたら必ず対応することを約束するが、改良については、下流からと考えている。</p>	
"	<p>(2) 上戸次小学校の浸水</p>	新規		<p>水位が上がる箇所を改良したいと考えている。用地買収中である。</p>	
"	<p>(3) 県河川の河床掘削等の実施 ①佐柳川の河床掘削 ②戸次古川の河床掘削 ③吉野川の河床掘削 ④高江川の河床掘削(八坂社上流から大ノ平・餅田地区まで) ⑤河原内川の河床掘削・土砂撤去及び護岸整備(瓜生橋から大津橋)</p>	継続 新規 継続 継続		<p>①②毎年順次進めている。合流点から佐柳川の方を中心に掘っていく。業者が決まったのでこれから進めてまいりたい。 ③昨年の5月頃河床掘削を実施。今年も一部区間実施する予定である。 ④7月に安東石材付近250m位の河床掘削を行った。今年度も一部区間実施予定である。 ⑤現在流下能力があるという判断をしている。家屋浸水は考えにくいということでも全面的な改修予定は無い。土砂の撤去については堆積状況に応じ対応していきたい。</p>	

<p>行政機関 都市計画課 都市交通対策課 土木管理課 スポーツ振興課</p>	<p>⑥河原内川左岸の堤防整備（瓜生橋からJR鉄橋）</p>	<p>新規</p>	<p>校区 判田</p>	<p>⑥流下能力はあると考えている。大野川の合流点からJRのところも改修が終わったので引きが良くなったととらえている。氾濫については今発生していないとみており、危ないようであれば対応が必要だが、現状は堤防整備の必要性は低い。今後、土砂の異常な堆積があったり、流下能力が阻害されるようなことがあれば対応を考えたい。</p>
<p>都市計画課 都市交通対策課 土木管理課 スポーツ振興課</p>	<p>令和元年度要望事項 1. JR中判田駅の改築とその周辺の再開発の実施 ①交通結節機能の強化について ②周辺道路、土地の整備について ・市道の拡幅（中判田駅前線、高江白滝橋線） ・都市再生整備計画事業での実施 ・中判田駅から判田校区に建設が予定されているスポーツ施設までのアクセス市道の整備（大分南高校へのアクセスも考慮した市道） ③駅舎の整備について</p>	<p>新規・継続 継続 H24～</p>	<p>校区 判田</p>	<p>令和元年度要望に対する回答 ①循環バスの実証実験を行った結果、JRとバスの連携についての要望は低かったという実情があるが、今後、特に高齢者の方々の足の確保が重要である。自動運転の実験等もしており、いろいろな観点から結節機能の強化が重要な課題になってくる。まちづくりビジョンの提言の一環としても進めてまいりたい。 ②③スポーツ施設のアクセスにも関係してくるので、市としてもできるだけ早く検討を進めていきたい。地元の皆様からご協力をいただきながら検討を進めていきたいので地元の皆様のご協力を仰ぎたい。また、線路をまたぐ工事なのでJRも巻き込んで議論を進めていかなければならない。道の整備をし、安全な道を作った方が、実用性が高くコスト的にやりやすい。11月から具体的な検討をさせていただきます。アクセス市道、駅舎の件も併せてJRと議論してまいりたい。</p>
<p>企画課</p>	<p>2. 過疎対策について</p>	<p>継続</p>	<p>竹中</p>	<p>R2に電話回線（ADSL）を利用してインターネット環境の整備を行っていく（1/27ふれあい市長室回答）</p>
<p>企画課 市民協働推進課</p>	<p>3. 地域交流拠点の整備について（大分県埋蔵文化財センター跡地の有効利用）</p>	<p>継続</p>	<p>判田</p>	<p>県が使う方向で検討をしている。動向を見ながら、県が使わないとなったらならぬ相談させていただきたい。</p>